

(様式1)

令和3年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和4年3月8日  
江別市立上江別小学校

1 今年度の重点目標

「いきいき のびのび」

かんがえる子 やさしい子 げんきな子 なかよくする子…教育目標を受けて

「家庭学習に毎日取り組む子」「時と場に応じた言葉遣いができる子」「みんなと外で元気よく遊ぶ子」「進んで誰にでもあいさつができる子」「約束やきまりを守って生活する子」

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ (青字)	改善策の適切さ (赤字)
経営方針の重点	「支持的風土の学級づくり」 一人ひとりの良さを見つけ、認め、伸ばし、お互いに認め合う学年・学級づくりができたか。また、子ども達が主体となる活動を学習や行事の場面で多く設定し、自己有用感に裏付けられた自尊感情を育成する事ができたか。	B	今年度も新型コロナウイルス対策をしながら子どもたちの関係づくり、学級づくりを進めることができた。日常の児童観察、保護者との連携を進めながら、各種アンケートや学級経営案の反省と分析を次の指導にいかすためのサイクルを構築できた。現在は学級経営案を六期に分けて自己評価しているが、次年度は全体で共有する場を年4回設定し、支持的風土の学級づくりを進めるための方策を互いに学び合える場を作っていく。また、次年度に向けて、保護者・児童アンケートの分析結果から明らかになった課題を今年度の内に解決し、次年度にも引き継げるように担外も情報を共有していく。	B	A
	「確かな学力の定着」 学習意欲の向上を図り、基礎的・基本的内容の確実な定着を図れたか。ICT、デジタル教科書を活用し、授業改善が図れたか。	A	少人数指導、補充学習、個別の学習支援、補充プリントの充実等により学力の底上げを図ることができた。また、日常的にデジタル教科書が電子黒板を活用し、視覚的に理解を深めることができた。今後は、前の学年にさかのぼって学力を定着させるのではなく、今の学年の内容を確実に身に付けさせられるようにしていく。児童用端末の活用は、学級間の統一した指導、学年間の系統的な指導ができるように整備していく。	A	A

	<p><b>「豊かな心、健やかな体の育成」</b>            基本的な生活習慣の定着、特別の教科「道徳」の指導の充実、体力向上の推進と外遊びの励行、心と意識を育む教育環境整備が図れたか。</p>	A	<p>「学習規律ハンドブック」を基にした共通指導の徹底、学級花壇の整備と管理、3分間走やなわとび90秒チャレンジなどの取り組みによって、心と意識、校内外の環境整備が進めることができた。今後は、全国学力学習状況調査の質問紙や各種アンケートの分析結果を保護者や児童にも継続的に伝えて、改善の意識を高めていく。また、道徳の研修もさらに充実させると共に、道徳教育推進の重点「努力と強い意志」「思いやり」「規則の尊重」について考える道徳の授業を充実させ、より豊かな心を涵養していく。</p>	A	A
	<p><b>「命を守る安全指導の充実」</b>            道徳教育や避難訓練・防犯教室、各種集会等を通して、自他の生命を大切に、相手を思いやる心を育成できたか。</p>	A	<p>新型コロナウイルスの感染状況に合わせて避難訓練、防犯教室を実施できた。また、指導計画に位置付けられている道徳指導だけではなく、日常的に生命を大切にする道徳指導を全校的に行うことができた。今後も新型コロナウイルスの感染状況に合わせた集会活動、避難訓練、防犯教室を開催し、全教育活動を通して生命を大切にする心を育成していく。</p>	A	A
	<p><b>「職能向上を図る研修や共通指導の徹底」</b>            日常の授業作りや授業実践において、共通理解に立った実践に努め、指導力を高めることができたか。</p>	A	<p>校内研究は、新型コロナウイルスの感染対策をした上で、研究授業、交流授業を行うことができた。研究協議についてもタブレットを活用して、意見交流をすることで、今まで以上に多くの意見や感想が出され、考えを深めることができた。次年度以降も研究テーマを具現化するために研究内容の日常実践と互いに授業を見合う場の充実と日常指導の徹底を図っていききたい。</p>	A	A
<p>テーマ・落ち着いたきのあるきれいな学校</p>	<p><b>「あいさつ」</b>            いつでも、どこでも、誰にでもあいさつできる子を育てることができたか。</p>	A	<p>4月当初と比べると、自分から進んで挨拶をしたり、相手の目を見てはっきりと挨拶したりする姿が多く見られるようになった。また、見守り隊の方々にも、子どもたちの挨拶が良くなってきたことを評価して頂くことができた。今後は、継続的な声かけや児童会の取り組みを通して、挨拶をされたら挨拶を返すのではなく、自分から進んで挨拶をできる児童を育てていきたい。</p>	A	A

<p>「ことばづかい」 時と場、相手に応じた言葉づかいができたか。授業中に返事をし、「～です」「～ます。」と話すごとができたか。</p>	B	<p>今年度は、学習規律の徹底（「はい」と返事をする、「～です」「～ます」で話すなど）について重点的に取り組んできたため自己評価は低い結果となった。今後も時と場合に応じた話し方が身に付くように、担任や担外も含めて学校教育全体を通して継続的に指導をしていく。</p>	B	A
<p>「そとあそび」 子どもたちへの声かけや全員遊びを計画的に行うことで、進んで外遊びを行っていたか。</p>	B	<p>今年度も新型コロナウイルスの影響から外遊びの際もマスク着用を義務付けていたが、そうした中でも休み時間には外遊びをする児童の姿がたくさん見られた。今後は、声かけだけではなく、学級あそびの推進を図ると共に、委員会主催の取り組みも活性化させていきたい。</p>	A	A
<p>「きまり」 持ち物のきまり、学校生活のきまり、校外生活のきまり等を守り、安全に落ちついて生活することができたか。</p>	B	<p>職員朝会、日報、職員会議等で校内外生活のルールを随時確認し、指導することができた。今後も廊下歩行、挨拶などの共通指導を継続し、落ち着いたきれいな学校を具現化していきたい。</p>	A	A
<p>「家庭学習」 「家庭学習の手引き(学ナビ)」を活用し、保護者との共通理解を基盤とした家庭学習の習慣化を行うことができたか。</p>	B	<p>例年、児童アンケート、保護者アンケートでも評価が低い項目である。学級での家庭学習についての取り組み方の指導、個別支援、中学校と連携した家庭学習強化週間の取り組みによって一定の成果はあった。その一方で、年々所持率が高くなり、使用時間も長くなってきているスマホ、ネットの使い方が家庭学習の取り組み方と密接につながっていることが明らかになってきた。(別紙1) 次年度に向けて、声かけや提出率のチェックだけではなく、小中連携の一環として中学校が期待する学習の仕方を高学年中心に指導する場を設けていきたい。また、学力向上係を中心にどうすれば家庭学習に取り組む児童が増えるのか内容や方法も校内で検討すると共に、さまざまな機会を通して保護者にも家庭学習の習慣化の大切さとスマホ・ネットの上手な使い方を伝えていきたい。</p>	B	A

教育課程・学習指導	<p><b>特色ある教育課程の実施</b>            落ち着いたのあるきれいな学校の実現のために学習規律の徹底と、朝読書の取り組み、学級花壇の整備を継続することができたか。</p>	B	<p>学力向上係を中心に毎月学習規律の重点目標を設定し、課題を明確にすることができた。朝読書については、感染状況に合わせて工夫して実施することができた。学級花壇は今年度も学年ごとに個性的なデザインが見られ、維持管理も適切に行うことができた。<b>新年度に向けて、学習規律上の共通指導事項を再確認し、どの学級でも同じ指導がされるようにしていきたい。</b></p>	A	A
	<p><b>新学習指導要領の確実な実施</b>            外国語活動、プログラミング教育に関わる研修を充実し、指導力を高めることはできたか。</p>	B	<p>学習指導要領改訂から2年目となり、教師も新しい教科書に慣れ、改訂のポイントの理解が進み、日常の授業の中で指導する場面が増えてきた。<b>今後はプログラミング的思考を組み込んだ授業をさらに推進していきたい。また、外国語活動については、アンケートを実施し、授業改善に努めていく。</b></p>	A	A
特別支援教育	<p><b>特別支援教育の推進と保護者への周知</b>            特別支援教育について、教職員間の共通理解を図る。特別支援Coを中心として、児童理解・保護者との対話、教育相談に努めたか。</p>	A	<p>今年度は、学習面や学校での過ごし方についての教育相談の件数も増え、個別の学習支援、担外のサポート体制を昨年度よりも充実させることができた。<b>来年度は教職員間で支援が必要な児童の情報交流の場を増やし、さらに早期対応できるようにしていく。</b></p>	A	A
生徒指導	<p><b>規範意識の醸成と基本的生活習慣の醸成</b>            予防的生徒指導の推進、体力づくりの工夫と外遊びの励行などの継続的な取り組みができたか。</p>	A	<p>職員間の情報共有が円滑に進められ早期にチームで児童・家庭対応することができた。また、全学級で体力づくりのための「なわとび」「持久走」に継続的に取り組むことができた。<b>次年度は体力向上計画をもとにした体育指導が全学級で行われるように声かけしていく。また、学年・学級の取り組みが「見える化」されるように活動部に働きかけていきたい。</b></p>	A	A
	<p><b>「安心」「安全」の確立</b>            問題行動の早期発見と早期指導、いじめへの毅然とした対応と指導の推進（いじめ防止基本方針共通理解）、道徳教育の充実等、全教職員相互の協力体制のもと指導することができたか。</p>	A	<p>協力指導委員会や日常的な情報共有によって、早期対応と早期解決につなげることができた。また、担任だけではなく、複数による聞き取り、指導を進めることができた。<b>今後は、積極的な生徒指導を推進するために、道徳推進教師に働きかけ、思いやりの心を育てる道徳指導を充実させていきたい。</b></p>	A	A

<p>地域保護者 住民との 連携</p>	<p><b>地域・家庭との連携と情報の発信(経営方針の重点)</b> 地域や保護者、幼保中との極め細かな連絡・相談・連携と各種通信・HPによる学校の取り組みの情報提供が充分にできたか。</p>	<p>A</p>	<p>保護者への早めの連絡、相談を行い、幼保、中学校との連携も密に行うことができた。また、HPの更新も滞りなく進めることができた。今後も地域に開かれた教育課程を具現化していくために、積極的な情報発信をしていきたい。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
------------------------------	--	----------	---	----------	----------

<p>学校関係者評価委員による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会、学習発表会、その他行事の開催について、他校の開催状況と比べ消極的に感じます。感染症拡大を考慮し健康を守る事を第一に考える事は大切ですが、児童、保護者共に小学校の期間でしか得られない経験がある事も考慮して頂きたい。現地参加が難しければ他に方法がないのかしっかりと検討をしたのか、大変な作業にはなるとは思います、その時その時ででき得る場作りを上江別小学校にはもっと考えてほしいと感じております。</li> <li>・ 今年度も子供達の為により良い学校作りにご尽力頂きありがとうございます。委員として少しでもお力添え出来ていれば幸いです。少し早いですが今年度もお疲れ様でした。</li> <li>・ コロナ禍の中ご指導ご苦勞様です。そんな中ですが、子どもたちの毎日落ち着いた生活ぶりだと思います。元気に思い切り活動できる日が一日も早く来ますよう祈っています。体力づくりが必須かと思えます。</li> <li>・ 評価項目「ことばづかい」は幼稚園でも同じく指導する場面が出ています。学年通信を拝見し、一年生が雪山遊びをしている姿、冬ならではの遊び良いですね！あと残り卒業式、修了式ですが、子どもたちはもちろん、職員の皆様もどうぞ健康に留意されてお過ごしください。</li> </ul>
-----------------------	---

【評点】A:よい B:おおむねよい C:ややよくない D:よくない